

SHIMOIGUSA LIBRARY



いまこそ教養！



「名作文庫」通信



新刊案内	P1
特集展覧【知的好奇心】	P2
名作文庫いざない回書	P3-P4
作家紹介【J・D・サルンジャー】	P5-P6



平成30年 秋号



SHIMOIGUSA LIBRARY

特集 「知的好奇心」

なにげない日常の出来事にも、様々な研究と考察がなされている。偉大な研究者達の思想に触れ、日常の中にある万物の不思議を感じてみませんか。



【星界の報告】

ガリレオ・ガリレイ／著 伊藤和行／訳 講談社学術文庫／刊
天文学の父・ガリレオは当時最高の性能を持つ、自作の望遠鏡で天体観測を行っていた。月面から始まり木星の衛星、天の川や星雲にも及ぶ、天体観測と宇宙についての考察記。

【シーボルト 日本植物誌】

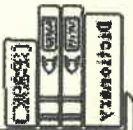
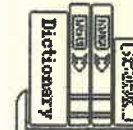
シーボルト／著 大場秀章／監修・解説 ちくま学芸文庫／刊
文政期の日本で医学の発展に大きく貢献したシーボルト。彼は日本の植物を博物学的に観察し、美しい彩色図版と共にヨーロッパに紹介していた。最新の研究知見を加えた解説付き。

【ロウソクの科学】

ファラデー／著 竹内敬人／訳 岩波文庫／刊
ロウソクが燃えている。その時一体どんな現象が起こっているのか？あたりまえと思っている日常から、深遠な科学の世界へ扉を開く。科学の精神を今に伝える名著。

新しく買った本

こちらで紹介しているのは所蔵図書の一部です。



【カタロニア讃歌】

ジョージ・オーウェル／著 都築忠七／訳 岩波文庫／刊



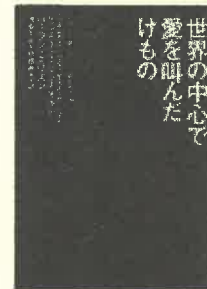
「一九八四年」のジョージ・オーウェルによる、スペイン市民戦争ルポルターージュ。「ファシスト」と闘うために共和国側民兵部隊に参加した著者。負傷により除隊するまで約半年間の体験に基づく貴重な記録。

【世界の中心で愛を叫んだけもの】

ハーラン・エリスン／著 浅倉久志+伊藤典夫／訳

ハヤカワ文庫SF／刊

時空間すべてにおける果て、始まりであり終わりであり現在である「究極の中心」で、パンドラの箱は開かれた…。鬼才エリスンの描く孤独・暴力・愛。流血と荒廃の近未来を描く寓話 15 篇を収録した珠玉の短編集。



【冷たい方程式】

トム・ゴドウィン他／著 伊藤典夫／編・訳

ハヤカワ文庫SF／刊

乗員 1 名のみを最速・最低限の燃料で目的地に届ける宇宙船に、若く美しい娘が密航していたら…？慣性の法則に基くSF小説の記念碑的名作「冷たい方程式」の他、SF界の巨匠アシモフの「信念」など 9 つの短編を収録。



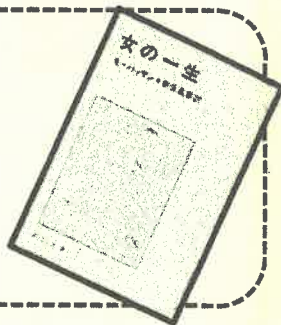
いざない図書の見どころと、いざない図書の中で紹介されている名作文庫

最期まで希望をあきらめない

【女の一生】

モーパッサン／著 新庄嘉章／訳 新潮文庫／刊

修道院で育ち幸福と希望を胸に結婚生活を始めたジャンヌ。しかしそれは愛する夫と息子に裏切られる、辛く悲しい人生の始まりでもあった。



少女から女性へのめざめ

【愛の妖精 (プチット・ファデット)】

ジョルジュ・サンド／著 宮崎嶺雄／訳 岩波文庫／刊

少女時代の著者をモデルにしたという主人公ファデット。フランスの田園を舞台に描かれる少女の恋と成長をこまやかに描く。



中世生まれのラブコメディ!?

【高慢と偏見】

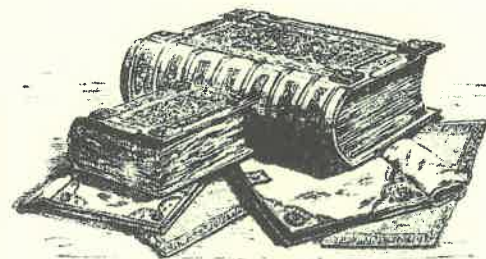
ジェイン・オースティン／著 阿部知二／訳 河出文庫／刊

中流家庭ベネット家の5人姉妹。次女エリザベスは資産家のダーシー氏に求婚されるが…? 世界文学屈指のラブストーリー。



名作文庫いざない現代図書

名作文庫は敷居が高い、難しそう、などなど…今まで名作文庫を読んだことのない方や、もっと名作文庫を楽しみたい方に、名作文庫にいざなう現代本を紹介します。



【おすすめいざない図書 「名作なんかこわくない」】

袖木麻子／著 PHP研究所／刊



名作は難解? そんなことはありません。
作家・袖木麻子による名作との付き合い方。

大人になるまでに読んでおけばよかった…。名作って難しいから…。有名な作品だけど、敷居が高かった…。さまざまな理由で読み逃してきた東西の名作を、もっと気軽に楽しむための画期的案内書。

謎に包まれた伝説の作家

J・D・サリンジャー



今号の作家紹介

ジェローム・デイヴィッド・サリンジャー

(Jerome David Salinger)

1919年1月1日 - 2010年1月27日

アメリカ合衆国の小説家。ユダヤ人を父としてニューヨークに生まれる。第2次大戦に志願して従軍した後、長編『ライ麦畑でつかまえて』で名声を得た。『九つの短編』に続いて『フラニーとゾーイ』等を発表するが、晩年は一切作品を発表せず、公にも姿を見せずひっそりと生活を送った。

なぜこの作家がすごいのか？

都会的で洒落た文体や、緻密で周到に計算された作者の作品は癖が強く、好き嫌いはわかれるが、『ライ麦畑でつかまえて』は、現在までに全世界で六千万部以上の部数が発行されたといわれる。国境も時代も越えて、今なお、読み継がれる作者の繊細な物語は、時を経て鈍ることはなく、世界中に熱狂的な読者を有する。

この作家の代表作

「ライ麦畑でつかまえて」

野崎孝／訳
白水ブックス／刊



主人公の十六歳の少年、ホールデンは有名高校の生徒で、作文だけは誰にも負けないが、あとの学科はからきしダメ。大人の儀礼的な処世術やまやかしに反発し、巨大な人工都市ニューヨークの街を、たった一人でさまよい続ける。軽快な語り口でユーモアたっぷり、繊細で力強い「胸に刺さる」永遠の青春小説。

短篇もおもしろい！

「ナイン・ストーリーズ」

柴田元幸／訳
ヴィレッジブックス／刊

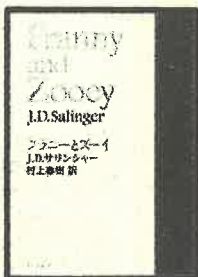


バナナがどっさり入っているバナナ穴に、行儀よく泳いでいき、中に入ると豚みたいにバナナを食べ散らかす…。グラーズ家の長兄、シーモアの謎の自殺を描く「バナナフィッシュ日和」など…。それまで発表した小説から、著者自身が気に入った作品を厳選した、九つの短編集。

こちらもおすすめ

「フラニーとゾーイ」

村上春樹／訳
新潮文庫／刊



名門の大学に通うグラス家の娘フラニーと兄のズーイ。エゴだらけの世界に疑惑を感じ、小さな宗教書に魂の救済を求めるフラニー。ズーイは才気とユーモアに富む渾身の言葉で自分の殻に閉じこもる妹を救い出そうとする。訳者、村上春樹の特別エッセイを掲載した別紙つき。



SHIMOIGUSA LIBRARY



下井草図書館には、「名作文庫」の棚があります。
一度は読んでおきたい、古今東西の名著名作を、
文庫版、新書版で集めた本棚です。



季刊名作文庫通信 3.6.9.12月発行

MASTERPIECE COLLECTION

